

にちにちこれこうじつ 日日是好日

群馬県立桐生特別支援学校
令和5年 5月12日
校長だより No. 3

4月28日は、小学部の登山に同行しました。「寝釈迦」を目標とするグループと、その先の「見晴台」を目標とするグループで、一年生から六年生が登山してきました。中学部の生徒とは違ってゆっくりペース。ゆっくり歩くと山道も楽しいものです。とは言え登ることには変わりなく、急坂は息が切れます。先生の「がんばれー。」の言葉に、児童が「がんばってますよー。」と返します。確かに、もうがんばってるな。思わず笑みがこぼれます。いつから仲間に「がんばれー」と声を掛けられるようになるのか楽しみです。登りはいいけど、下りが苦手という児童もいます。根っこや枕木の段差を手で確かめ、そおつと足を延ばし、時にはお尻をつけて降りる様子も見られました。無理せず安全を心がけるのが下り坂では大切です。一年生も初めての登山、よく頑張っていました。



梅雨時期を前に、校庭に砂をいれました。ふた山ある砂を一輪車に載せたり、バケツで運んだりして校庭の走路を整備しました。職員作業だけでは終わらず、一部は中学部生が作業学習として引き継いでくれました。みんなで使う校庭を上級生が整備してくれたのは頼もしい。暑くなりますが、整備された新しい走路を鳥の声を聴きながら走ったり、歩いたりするのは気持ちいいですね。



中学部では、6月1、2日に行われる宿泊学習に向けた学習がスタートしています。8日に引率に加わる校長、養護教諭、教務主任も参加して顔合わせを行いました。生徒たちはどんな活動になるのかとワクワクしていることでしょうか。「慣れないところで泊まってこられるかな。」「うまく自分の役割を果たすことができるかな。」といった不安もあるでしょう。これからの事前学習で、一つ一つ不安を解消し、見通しをたてていきましょう。一日目のメインとなる登山は練習を重ねてきているので、距離が長くても当日は楽しく登頂してこられるでしょう。桐生市青少年野外活動センターで、これまで学んできたことを生かした主体的な行動がみられることを楽しみにしています。一人一人目標をたてているそうなので、どんな目標をたてているのか見にいきたいと思っています。

校内研修を紹介します

5月9日に全校集会「一年生を迎える会」が行われました。入学して一カ月たっているのに、これまでにどこかで顔をあわせています。でも名前までわかりません。自己紹介では、名前や好きなもの、頑張りたいこと等を発表しました。「すきなものは、唐揚げ。」という発表にみんなも納得していました。中学部生は学習発表会や宿泊学習、山登りなどを楽しみにしているようです。プログラムの中で、挨拶やプレゼントの贈呈、上級生からの言葉を述べた児童生徒は立派に大役を務めてくれました。一緒に校歌を歌い、「パプリカ」を踊って、一年生もみんな桐生の仲間入りです。はじめは緊張していた一年生も最後には堂々とみんなの前に立っていたのが印象的でした。

先生方は児童生徒が帰ったあと、研修も行っています。4月に引き続いて今回は、「太田ステージ評価に基づいた個別の指導計画の作成について」校内の先生が講師になって研修しています。今後は授業研究やICT研修、医療的ケア研修、生徒指導研修等も予定されています。ちなみに、今年の研修テーマは、「子どもが自ら次の目標に向かいたくなる授業を目指して」としています。研修の様子も時折紹介していきます。